

令和4年度 学校評価(中間評価)報告

令和4年度門前中学校学校評価(中間評価)を公開いたします。学校からのアンケートの結果報告と自己評価・分析と改善策を示しました。学校関係者評価委員の皆様からは多くのご示唆を頂きました。有難うございます。後期の学校運営に反映して参りたいと思います。以下にまとめたものを報告いたします。

重点目標	評価	分析
確かな学力の育成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の授業態度は評価が高い。 ・家庭学習の習慣が十分に定着していない。 ・ICT機器を利用した学習に積極的に取り組んでいる。 ・新聞や本を通して活字に親しむようになってきたが、十分とは言えない。
委員から		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が自分の子どもは「授業が分かると言っている」「学習に対して意欲的である」と回答している割合と、生徒が「集中して学習に取り組んでいる」「話し合い活動に積極的に参加している」と回答している割合には開きがある。この開きは、子どもがていないと思っている保護者がいるのではないかと。対策を講じる必要がある。 ・「家庭学習の習慣が十分でない」と回答している割合から、4人に1人は学習習慣が定着しているとは思っていない。もう少し家庭学習の定着を図ってもらいたい。 ・「新聞や本を読んでいる」と回答した保護者の割合は高いとは言えない。本に限定せず、「新聞や本」を通して活字に慣れ親しむことで、効果的な取組にして欲しい。
改善策		<p><授業が分かる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・あすなるノート(自学ノート)は学習内容の予習や復習(定着)、学習習慣の定着が目的であることを再度生徒に確認する。あすなるノートのこまめなチェックを通して学習習慣の定着を図る。 <p><学習に対する意欲></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣の定着が十分でない生徒は、学習内容もよく分からないまま学習が進んでいると思われる。教師が気にかけて声をかけるだけでなく、提出物をきちんと出させ、ワークを前倒しして取り掛からせるなどの働きかけを行う。 <p><活字への慣れ親しみについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞を題材とした200字作文に取り組んでいる。北國新聞の地鳴りに掲載された記事は掲示して見える化するなど、意識の向上を図っている。生徒が希望する本の購入、ポップの工夫や、先生のお薦めの本紹介などに継続して取り組んでいく。

重点目標	評価	分析
豊かな心の育成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自己肯定感はやや低いだが、これからの自分のことは考えている。保護者とはこれからのことについて話し合いが十分に出来ているとは言えない。 ・11時までには寝ていると回答した生徒、保護者の割合は低い。 ・語先後礼をはじめとして、挨拶が出来ている。
委員から		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は自分なりにこれからのことは考えているようだが、保護者の回答の割合と比べると開きがある。将来の夢や希望、就きたい職業という大げさな感じがするので、ちょっと先のことや1年後のことでもいい。これからのことについて話をするような取組をして欲しい。子供は恥ずかしくて面と向かってそんな話はしないと思うので、学校からの働きかけをして欲しい。 ・「決まった時間に寝ている」と回答した生徒と保護者は低く、不規則な生活になっているのではないかと?
改善策		<p><これからのことについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートを使って、学期末に自分のキャリアについて家の人と相談する取組をしている。学期末前に使うことで、生徒は自分の少し先のこと、保護者は子どもの思いや考えていることや悩んでいることを共有してほしい。そこでアドバイスできることがあると思うので、キャリアパスポートを有効に使っていきたい。 <p><11時までには寝ることについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・11時までには寝ることが良いかどうかは、生徒によって違いがある。家へ帰ってからの生活は多様で、課題などのすべきことが終わったら、すぐ寝るように指導している。 ・タブレットの持ち帰りは週末にして、平日は自分に合った生活のリズムを作る中で、睡眠時間を確保するよう指導していく。

重点目標	評価	分析
健やかな体の育成	B	<ul style="list-style-type: none"> ・体育や部活動を通して体力の向上を図ることが概ねできている。 ・学校内外の安全指導が徹底されている。 ・「メディア機器使用のきまり」について守っている家庭の割合は低い。生徒と保護者との認識にもズレがある。
委員から		<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、トラブルに巻き込まれない使い方をして欲しい。実際には、きまりのある家庭、そうでない家庭があると思う。この項目は毎年低いのだが、家庭の協力を得てきまりの有無の調査、きまりがない家庭はきまりを設けて、学校と家庭で協力して取り組む体制を作ってはどうか？
改善策		<p><メディア機器使用のきまりについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校関係者評価委員会からの提言という形でPTA役員の確認、学校だよりでのお知らせの後に、アンケートで各家庭のきまりの有無、きまりの作成についてご協力頂くようお願いする。学校では集会やネットトラブル防止教室を行い、きまりを守った使い方の指導を継続していく。

重点目標	評価	分析
信頼される学校づくり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に行くのが楽しい、信頼できる先生がいるという評価項目が生徒・保護者ともに良好である。

重点目標	評価	分析
組織的な学校づくり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・各種たより等を通じて、情報発信が適切に行われている。 ・管理職への報告・連絡・相談が徹底されている。

<今後の部活動について>

- ・輪島市教育委員会からの連絡や他の市内の中学校と情報交換をしながら対応する。入部後に3年生が抜けた場合の説明も入学説明会で行う。11月29日の教育懇話会で教育委員会から部活動についてお話をさせていただく予定です。